



# KOJIMA

Co.,Ltd.

[第45期]

2007.9

**中間報告書**

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

### 家電専門ナショナルチェーン「地域一番店の集合体・コジマ」の構築を推進し、収益力の向上に尽力しています



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第45期中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今後の経済見通しは、引き続き企業収益の改善に伴う民間設備投資が拡大し、雇用環境の改善が続く中で、個人消費は緩やかに回復を続けていくものと見られております。一方、原油価格の高騰やサブプライム問題による株式市況への悪影響もあって、先行き懸念が払拭できない状況が続くものと思われま

す。当家電販売業界では、企業間競争は今後さらに厳しくなることが予想される中であっても、薄型テレビは来年の北京オリンピック開催を控えて順調な伸びを示し、省エネや環境対応に配慮した高単価・高付加価値の商品の需要が高まるものと思われま

す。こうした中、当社グループでは、「地域一番店の集合体・コジマ」の構築を推進するため、お客様視点にたった魅力的な品揃えを目的と価格訴求を実現すべく、仕入調達力の一層の強化を図り、販売施策との連携をより深めることで収益力の向上と在庫効率の推進を図ってまいります。また、引き続き接客力の強化のための店舗運営管理の充実や商品知識の習得度向上に努めてまいります。

なお、平成19年10月16日に経済産業省・環境省より家電リサイクル品の取り扱いに関して、行政指導(勧告)を受けました。今回のご指導を真摯に受け止め、内部管理体制の強化および委託収集運搬業者の指導・監督を継続的に行うとともに、盗難等の発生を極力防止し、家電リサイクル法に則る適切な対応を徹底していく所存であります。

株主の皆さまには、引き続き一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成19年12月

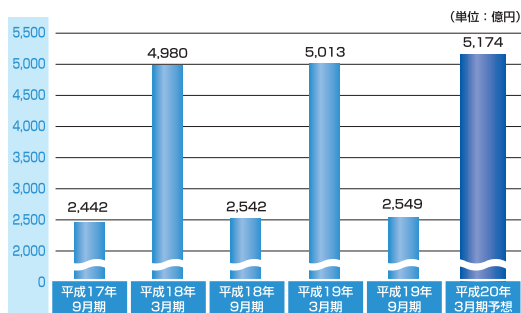
代表取締役社長  
小島章利

## ●業績の推移

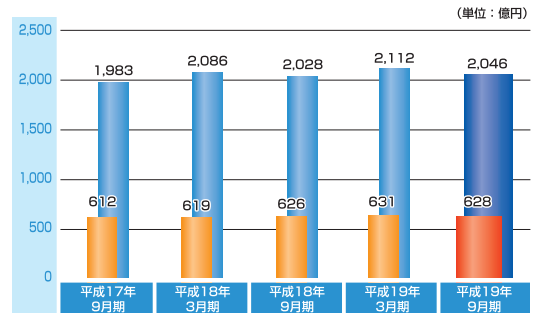
(単位：百万円)

区分	平成17年9月期 (平成17年4月1日 ～平成17年9月30日)	平成18年3月期 (平成17年4月1日 ～平成18年3月31日)	平成18年9月期 (平成18年4月1日 ～平成18年9月30日)	平成19年3月期 (平成18年4月1日 ～平成19年3月31日)	平成19年9月期 (平成19年4月1日 ～平成19年9月30日)
売上高	244,243	498,040	254,245	501,335	254,910
経常利益	3,180	6,317	2,198	4,354	940
当期純利益	△4,974	△3,829	1,173	1,917	64
1株あたり当期純利益	△127.85円	△98.42円	30.15円	49.28円	1.66円
総資産	198,292	208,615	202,831	211,237	204,636
純資産	61,163	61,909	62,641	63,126	62,763

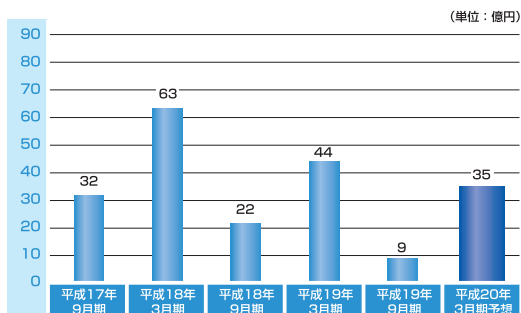
## ●売上高の推移



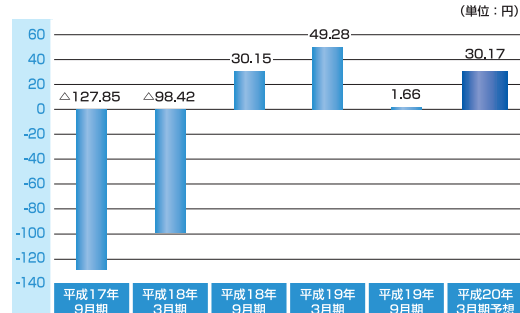
## ●総資産・純資産の推移



## ●経常利益の推移



## ●1株あたり当期純利益の推移



### 平成19年度中間期の市場動向と当社の取り組み

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善を背景に民間の設備投資が増加基調にあったことから、雇用は着実に改善傾向をたどりました。しかしながら、賃金が伸びないなど、個人消費は弱含みで推移いたしました。また、原油価格の高騰やサブプライムローン問題による株価低迷の影響等もあって、先行きに不安感のある状況が続きました。

当家電販売業界は、薄型テレビは地上波デジタル放送のエリア地域拡大に伴う需要の増加や単価ダウンの影響で販売台数が好調に推移したことから、前年のワールドカップの反動減懸念があったにもかかわらず、堅調に推移いたしました。エアコンは8月以降の猛暑はあったものの、7月の長雨や台風の影響が大きく前年並みの水準となりました。一方、パソコンは期待感の

高かった新OS搭載後の販売動向は、やや期待はずれのものとなりました。

このような環境下にあって、当社グループではお客様の省エネ・節約をサポートする「省エネ家電普及キャンペーン」を展開し、省エネ家電の販売促進と省エネに関する情報提供を図り、高単価・高付加価値商品の需要の取り込みに努めました。また、接客率と業務効率の向上を図るべく、店舗運営管理の仕組みづくりを推進するとともに、商品知識習得の学習機会を増やし接客力の向上に努めました。

### 今期売上高は2,549億10百万円（前年同期比0.3%増）、 経常利益は9億40百万円（同57.2%減）となりました

当中間連結会計期間における売上高は2,549億10百万円（前年同期比0.3%増）、経常利益は9億40百万円（同57.2%減）、当期純利益は64百万円（同94.5%減）となりました。

引き続き経営資源の強化構築に邁進し、収益力の向上を図る

諸施策を実施することによって、平成20年3月期（平成19年度）の業績につきましては、売上高5,174億円20百万円（前期比3.2%増）、経常利益34億55百万円（同20.6%減）、当期純利益11億74百万円（同38.7%減）を見込んでおります。

## 更なる成長を目指して統一定番の全店展開を実現

### 成長構造改革は継続的成長軌道へ

かねてより推進しておりました収益構造改革および成長構造改革は、継続的成長へと展開する新しいステージへ移行いたします。主な施策といたしましては、販売計画の精度を向上させる「統一定番」の実現、きめ細かな勤務管理を可能とするオペレーション「レイバースケジューリングシステム」の導入、店舗の「全国展開」および統廃合の終了に伴う「標準店化完成」などです。

	02/3期 ~05/3期	06/3期 ~07/3期	今期:08/3期	09/3期~
位置づけ		成長構造改革		ナショナルチェーンとしての継続的成長
		収益構造改革		
1.商品政策		統一定番準備段階	統一定番全店展開とその整備 垂直立ち上げ 販売促進の全店統一 販促施策の強化	統一定番の実現 売上・粗利率向上
2.オペレーション		CPFR構築	レイバースケジューリングシステム導入 店舗人材の販売集中	人材育成強化
3.店舗展開		標準店化 (3,000m規模)	全国展開の完成 集中統廃合の完了	関東への 重点出店

### 統一定番の狙いと期待できる効果

店舗の統廃合の完了に伴い、全店舗での統一定番の展開が可能となりました。統一定番の本格運用によって、右記に示すような多様な効果が期待できます。今後は特に「新製品の垂直立ち上げ」と「推奨商品の販売強化」に注力いたします。

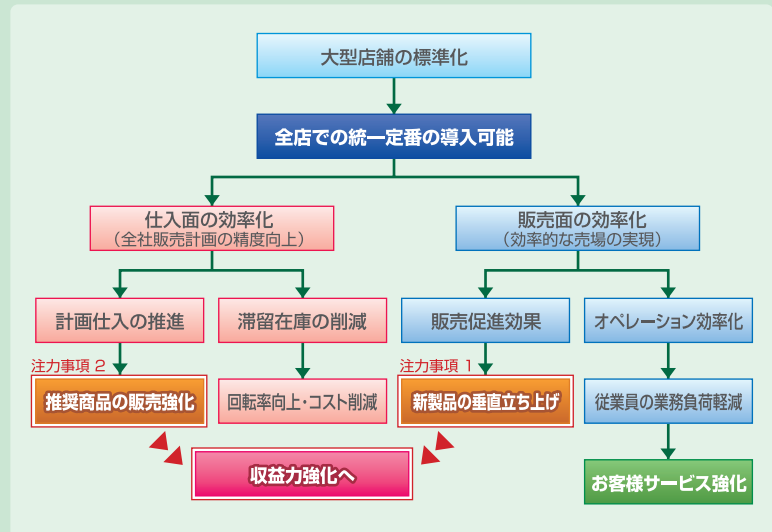
#### 新製品の垂直立ち上げ

店舗の統廃合の過程においては、全店で商品を統一することが出来なかったため垂直立ち上げ(新製品の発売日全店一斉展示)が十分に出来ない製品も存在しました。

今後は統一定番の全店展開による新製品の垂直立ち上げの強化により、販売力や収益の向上を目指します。

#### 推奨商品の販売強化

「店舗分散型」から「会社統合型」へ移行することによって、販売計画の精度が向上し、販売面の効率化が図れます。推奨商品を集中的に販売することで、収益力を強化します。



# 中間期決算報告(連結)

## 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

資産の部	第44期	第45期	負債の部	第44期	第45期
	(平成18年9月30日現在)	(平成19年9月30日現在)		(平成18年9月30日現在)	(平成19年9月30日現在)
<b>流動資産</b>	<b>109,380</b>	<b>116,974</b>	<b>流動負債</b>	<b>77,269</b>	<b>80,354</b>
現金及び預金	19,429	24,421	買掛金	38,881	38,668
受取手形及び売掛金	9,668	12,131	1年以内返済予定長期借入金	26,554	28,481
たな卸資産	71,659	69,586	1年以内償還予定の社債	200	—
繰延税金資産	926	864	未払法人税等	839	437
その他	7,772	10,052	未払事業所税	118	119
貸倒引当金	△76	△81	未払消費税等	517	1,109
			その他	10,157	11,538
<b>固定資産</b>	<b>93,451</b>	<b>87,661</b>	<b>固定負債</b>	<b>62,921</b>	<b>61,517</b>
有形固定資産	61,421	54,628	新株予約権付社債	6000	5,400
建物及び構築物	78,065	70,779	長期借入金	53,027	51,012
減価償却累計額	33,507	31,816	ポイント引当金	2,712	3,750
土地	14,292	12,547	退職給付引当金	39	41
建設仮勘定	27	726	役員退職慰労引当金	218	238
その他	7,641	8,029	その他	923	1,074
減価償却累計額	5,098	5,636	<b>負債合計</b>	<b>140,190</b>	<b>141,872</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>996</b>	<b>989</b>	<b>純資産の部</b>	<b>第44期</b>	<b>第45期</b>
投資その他の資産	31,033	32,043	株主資本	62,568	62,735
投資有価証券	1,355	925	資本金	18,916	18,916
長期差入保証金	22,588	23,080	資本剰余金	20,940	20,940
繰延税金資産	2,569	3,321	利益剰余金	22,712	22,879
その他	4,566	4,716	自己株式	△0	△0
貸倒引当金	△46	△0	評価・換算差額等	72	28
			その他有価証券評価差額金	72	28
<b>資産合計</b>	<b>202,831</b>	<b>204,636</b>	<b>純資産合計</b>	<b>62,641</b>	<b>62,763</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>202,831</b>	<b>204,636</b>

## 【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	第44期 (平成18年9月30日現在)	第45期 (平成19年9月30日現在)
売上高	254,245	254,910
売上原価	211,253	210,764
売上総利益	42,992	44,146
販売費及び一般管理費	45,587	47,335
営業損失	2,595	3,189
営業外収益	5,494	4,939
受取利息	59	63
受取配当金	2	2
販促協賛金	5,314	4,725
その他	117	148
営業外費用	699	810
支払利息	618	734
その他	80	75
経常利益	2,198	940
特別利益	13	687
貸倒引当金戻入額	13	2
固定資産売却益	-	685
預り保証金解約益	-	-
特別損失	161	1,141
固定資産売却損	-	575
固定資産除却損	38	13
減損損失	116	282
退店関連損失	6	-
建設協力金譲渡損	-	-
建設賃貸借契約解約損	-	270
税金等調整前	2,051	486
中間(当期)純利益		
法人税、住民税及び事業税	625	283
法人税等調整額	252	137
中間(当期)純利益	1,173	64

売上高

**2,549億円** 前期比0.3%増

経常利益

**9億円** 前期比57.2%減

当中間期純利益

**0.6億円** 前期比94.5%減

## 【中間連結株主資本等変動計算書】 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日 残高(百万円)	18,916	20,940	23,204	△0	63,060
中間連結会計期間中 の変動額					
剰余金の配当			△389		△389
中間純利益			64		64
株主資本以外の項目 の中間連結会計期間 中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中 の変動額合計(百万円)	-	-	△324	-	△324
平成19年9月30日 残高(百万円)	18,916	20,940	22,879	△0	62,735

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日 残高(百万円)	66	66	63,126
中間連結会計期間中 の変動額			
剰余金の配当			△389
中間純利益			64
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中 の変動額(純額)	△37	△37	△37
中間連結会計期間中 の変動額合計(百万円)	△37	△37	△362
平成19年9月30日 残高(百万円)	28	28	62,763

# 中間期決算報告(連結)

## 【中間連結キャッシュ・フロー計算書】

資産の部	第44期	第45期
	(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間(当期)純利益	2,051	486
減価償却費	2,288	1,897
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	6	10
退職給付引当金の増減額(減少:△)	5	3
ポイント引当金の増減額(減少:△)	334	713
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△13	△2
受取利息及び配当金	△61	△66
支払利息	618	734
固定資産売却損益(売却益:△)	-	△109
固定資産除却損	38	13
減損損失	116	282
売上債権の増減額(増加:△)	1,049	683
たな卸資産の増減額(増加:△)	660	9,256
仕入債務の増減額(減少:△)	△6,252	△4,868
その他	△934	217
小計	△92	9,254
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	△638	△736
法人税等の支払額	△1,485	△737
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,211	7,787
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	-	-
投資有価証券の売却による収入	-	360
有形固定資産の取得による支出	△2,852	△4,602
有形固定資産の除却による支出	△19	△10
有形固定資産の売却による収入	-	5,888
無形固定資産の取得による支出	△9	△24
その他の投資等の増減額(増加:△)	△202	△1,805
その他	37	146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,047	△48
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	19,000	15,000
長期借入金返済による支出	△16,588	△14,877
新株予約権付社債の償還による支出	-	△600
社債の償還による支出	△100	△100
配当金の支払額	△388	△367
その他	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,923	△945
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△3,335	6,793
現金及び現金同等物の期首残高	22,764	17,627
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	19,429	24,421

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

**78** 億円

前期比100億円増(前期は△22億円)

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

**△0.5** 億円

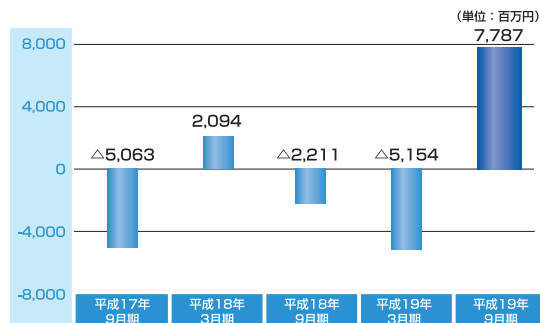
前期比30億円増

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

**△9** 億円

前期比29億円減(前期は1,923億円)

### ●営業活動によるキャッシュ・フローの推移





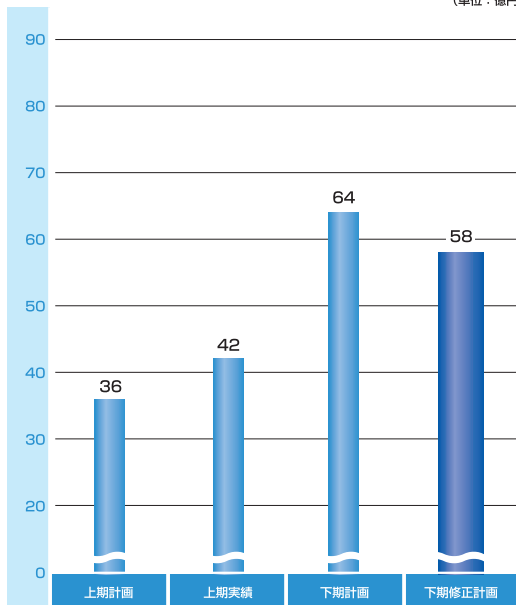
## 長期展望に基づく新規大型店舗の出店

# 100 億円

平成19年度に予定の設備投資計画数値です。上期に6店舗を新設し、下期には11店舗を計画しております。その売場面積は平均3,000㎡であり、好立地による高効率の店舗網拡充を目指しております。

## ●設備投資額 — 支払ベース —

(単位:億円)

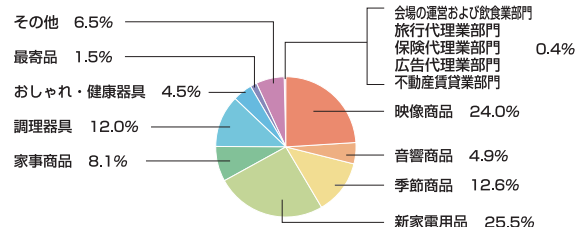


## 当期の営業状況 — 商品の動向 —

部門別の売上高は、家電品販売業部門では売上高2,538億260万円(前年同期比0.2%増)となり、その内訳といたしまして映像商品が612億670万円(同0.7%減)、音響商品が123億850万円(同7.3%増)、季節商品が320億100万円(同3.7%増)、新家電用品が649億900万円(同1.1%増)、家事商品が207億430万円(同5.9%減)、調理器具が306億900万円(同1.3%増)、おしゃれ・健康器具が113億750万円(同2.4%減)、最寄品が38億620万円(同5.7%減)、その他が166億710万円(同1.2%減)となりました。また、広告代理業部門、会場の運営及び飲食業部門およびその他部門を合計した売上高は10億8400万円(同7.8%増)となりました。

## 各商品・部門の売上状況と構成比

映像商品	= 61,267 (単位は百万円)	99.3% (前年同期比)
音響商品	= 12,385	107.3%
季節商品	= 32,001	103.7%
新家電用品	= 64,909	101.1%
家事商品	= 20,743	94.1%
調理器具	= 30,609	101.3%
おしゃれ・健康器具	= 11,375	97.6%
最寄品	= 3,862	94.3%
その他	= 16,671	98.8%
会場の運営及び飲食業部門	= 198	81.8%
旅行代理業部門	= 30	77.5%
保険代理業部門	= 19	100.7%
広告代理業部門	= 60	382.8%
不動産賃貸業部門	= 775	112.7%



# 中間期決算報告(単体)

## 【中間貸借対照表】

(単位：百万円)

資産の部	第44期	第45期	負債の部	第44期	第45期
	(平成18年9月30日現在)	(平成19年9月30日現在)		(平成18年9月30日現在)	(平成19年9月30日現在)
<b>流動資産</b>	<b>109,215</b>	<b>116,840</b>	<b>流動負債</b>	<b>76,462</b>	<b>79,548</b>
現金及び預金	19,355	24,357	買掛金	38,846	38,636
受取手形	259	203	1年以内返済予定長期借入金	26,548	28,481
売掛金	9,362	11,874	1年以内償還予定の社債	200	—
たな卸資産	71,580	69,493	未払法人税等	837	436
繰延税金資産	926	864	その他	10,028	11,994
その他	7,798	10,117	<b>固定負債</b>	<b>62,862</b>	<b>61,455</b>
貸倒引当金	△67	△69	新株予約権付社債	6,000	5,400
			長期借入金	53,026	51,012
<b>固定資産</b>	<b>93,213</b>	<b>87,369</b>	ポイント引当金	2,712	3,750
有形固定資産	60,454	53,712	役員退職慰労引当金	198	217
建物	41,461	36,112	その他	924	1,074
土地	14,188	12,444	<b>負債合計</b>	<b>139,324</b>	<b>141,004</b>
その他	4,804	5,155			
無形固定資産	981	975	<b>純資産の部</b>	<b>第44期</b>	<b>第45期</b>
投資その他の資産	31,777	32,681	株主資本	63,030	63,177
投資有価証券	1,345	915	資本金	18,916	18,916
長期差入保証金	22,538	23,027	資本剰余金	20,940	20,940
繰延税金資産	2,545	3,297	資本準備金	20,940	20,940
その他	5,394	5,440	利益剰余金	23,174	23,321
貸倒引当金	△46	△0	利益準備金	670	670
			その他利益剰余金		
<b>資産合計</b>	<b>202,428</b>	<b>204,210</b>	別途積立金	19,600	19,600
			繰越利益剰余金	2,904	3,051
			自己株式	△0	△0
			評価・換算差額等	72	28
			その他有価証券評価差額金	72	28
			<b>純資産合計</b>	<b>63,103</b>	<b>63,205</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>202,428</b>	<b>204,210</b>

## 【中間損益計算書】

(単位：百万円)

	第44期 (平成18年9月30日現在)	第45期 (平成19年9月30日現在)
売上高	253,936	254,606
売上原価	211,078	210,566
売上総利益	42,857	44,039
販売費及び一般管理費	45,452	47,228
営業損失	2,594	3,188
営業外収益	5,491	4,935
営業外費用	701	812
経常利益	2,195	934
特別利益	15	687
特別損失	160	1,141
税引前中間(当期)純利益	2,050	479
法人税、住民税及び事業税	625	282
法人税等調整額	252	137
中間(当期)純利益	1,173	59

### 1株あたりの株主配当金

# 6.50円

当中間期の中間配当金は6.50円。昨年同期と同額です。年間配当金は、16.50円を予定しております。

### 当期の営業状況 一店舗の動向一

店舗政策といたしましては、引き続き大型店舗の設置と小型店舗の統廃合を推進いたしました。新店舗としましては千葉県習志野市のNEW習志野店をはじめとする計6店舗を開設し、また、千葉県野田市の野田店をはじめとする計5店舗を閉店したことから、当中間連結会期年度末での店舗数は227店舗となりました。

### 平成19年10月から平成20年3月までの新規店舗開店予定

引き続き大型店舗の設置と小型店舗の統廃合を推進いたします。下期につきましては、新店舗として11店舗の開設を実施する一方で、6店舗の閉店を計画しており、販売網の拡充に努める所存であります。

## 【中間株主資本等変動計算書】

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日 残高(百万円)	18,916	20,940	23,651	△0	63,507
中間会計期間中 の変動額					
剰余金の配当			△389		△389
中間純利益			59		59
株主資本以外の項目 の中間会計期間 中の変動額(純額)					
中間会計期間中 の変動額合計(百万円)	-	-	△329	-	△329
平成19年9月30日 残高(百万円)	18,916	20,940	23,321	△0	63,177

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日 残高(百万円)	66	66	63,573
中間会計期間中 の変動額			
剰余金の配当			△389
中間純利益			59
株主資本以外の項目 の中間会計期間中 の変動額(純額)	△37	△37	△37
中間会計期間中 の変動額合計(百万円)	△37	△37	△367
平成19年9月30日 残高(百万円)	28	28	63,205

## 省エネ&節約は、 家庭でできる地球温暖化対策

明るい省エネでストップ温暖化! **コジマ省エネチャレンジ50**

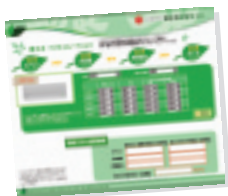
省エネ家電の販売推進と情報提供を通じて積極的に環境保護に取り組んでいます

地球規模で深刻化する環境問題・温暖化対策の一助として、省エネ性能の優れた家電への買い替え、および上手な使い方、家庭の電気代・電力使用量を半分に削減する『コジマ省エネチャレンジ50』を提唱し、お客様の省エネをサポートしています。

## 今秋、エコサイトがさらに充実 WEBサービスで省エネをしっかりサポート

さらに、コジマホームページ (<http://www.kojima.net/>) に、「コジマ省エネ比較サイト」を開設。今お使いの家電の電気代と、最新の省エネ機種に買い替えた場合の電気代を比較し、年間電気代削減金額を訴求して買い換えのメリットを提案しています。

11月には新しく「コジマ省エネ家計簿」「コジマ省エネアンケート」をオープンしました。「コジマ省エネ家計簿」は、毎月の電気代を見やすくグラフで一覧表示して達成度を把握し、平均電気代との比較などによって目標を明確化して、電気代50%削減を実現していただく試みです。また、ご回答いただいた内容に応じて、お客様の暮らしに合わせた省エネの個別コンサルをメールでご案内し、ひとりひとりのお客様の省エネをしっかりとサポートいたします。

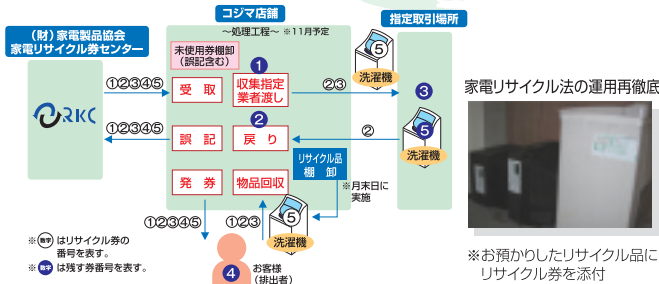


※画面は開発中のものです。

## 家電リサイクル法の取り組み

リサイクル品を単品ごとに追跡する統合管理システムを導入し、盗難の発生を極力防止する体制を整えてまいります。

### 統合管理システムの導入



「リサイクル券・配送伝票・リサイクル品」の管理機能を強化

## 外部コンテナに機械警備を導入



※リサイクル品の保管コンテナ



※警備会社と契約 (2007年10月より実施)

※コンテナに施錠 (2001年4月より実施)

警備会社と警備契約を締結し、リサイクル品を安全に保管

## 集合教育・テレビ会議システム等を利用した リサイクル法の社員教育の徹底



運用マニュアルを再整備し、再徹底教育を継続的に実施

全国に着々と販売網を拡げ、独自の商品やサービスで、各地域のお客様の期待に応えています。

鳥取県および山口県に新規出店。まもなく全県出店を達成します！

鳥取県下に初出店となる『NEW鳥取店』を、10月にオープンしました。ワンフロア形式の売場では、映像商品や情報関連商品をはじめ、広い空間に各種商品を見やすく配置。売場面積は2,655㎡、3,200台（共有）が駐車可能な大型駐車場を完備しています。同月には、山口県下に初出店となる『NEW山口宇部空港店』をオープン。売場面積3,200㎡の3階建て店舗では、一般家電から情報家電、ゲーム機やゲームソフトなど幅広い商品

を取りそろえています。なお、来春には全県への出店を達成し、全国販売網が完成する予定です。

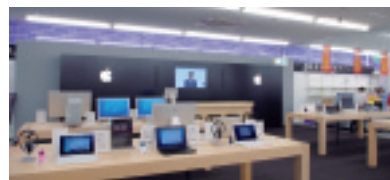
また6月には、『NEW静岡店』、『NEW梶ヶ谷店』、『NEW柏店』に「アップルのショップ」を相次いで導入。落ち着いた空間で、Macパソコンなどのアップル製品を自由にお試しいただけます。



NEW山口宇部空港店



NEW鳥取店



アップルのショップ

## コジマコンセプトブランド 『カラフルモザイク』（2007モデル）発売！

10月より、インテリア性の高いフローリング家電シリーズ『カラフルモザイク』（2007モデル）の販売を開始しました。こたつを中心に、こたつ布団やホットカーペットカバーなど関連商品を展開し、8アイテム13色から様々なパターンの商品・カラーコーディネートを好みに応じて自由に選べます。コジマホームページに開設した専用サイトの「カラーシミュレーター機能」では、色の組み合わせをヴァーチャル体験し、楽しむことができます。



## 業界初となる 『コジマ落とし物お知らせサービス』を開始！

「コジマお客様カード」会員の特典として、『コジマ落とし物お知らせサービス』を9月よりスタートしました。デジタルカメラやノートパソコンなどのご購入時に、管理ナンバーを記載した「落とし物お知らせシール」を無料で発行。万一商品を紛失した場合にも、拾得者からの届けがあった際に落とし主を特定でき、お客様にご連絡するサービスです。家電小売業界初の試みとなる本サービスシステムは、現在、特許出願中です。



## 会社概要 (平成19年9月30日現在)

商号	株式会社コジマ
本社	Kojima Co., Ltd. 〒320-8528 栃木県宇都宮市星が丘2丁目1番8号
電話番号	(028) 621-0001 (大代表)
ホームページ	<a href="http://www.kojima.net">http://www.kojima.net</a>
創業	昭和30年4月
設立	昭和38年8月
代表取締役社長	小島 章利
資本金	189億1,664万円
従業員数	4,841名
取引銀行	足利銀行、みずほ銀行、三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行、栃木銀行、常陽銀行 りそな銀行、横浜銀行、第四銀行 群馬銀行、東邦銀行、きらやか銀行、 大東銀行、秋田銀行、みずほ信託銀行 住友信託銀行、三菱UFJ信託銀行

## 取締役および監査役 (平成19年9月30日現在)

代表取締役社長	小島 章利
取締役副社長	大垣 悦男
取締役兼専務執行役員 人事本部長	加藤 孝幸
取締役兼専務執行役員 総務本部長	森 真貴
取締役兼専務執行役員 営業本部長	佐藤 元彦
取締役兼常務執行役員 経営企画室長	寺崎 悦男
取締役兼常務執行役員 商品本部長兼情報システム本部長	上山 昭夫
取締役	石川 英男
常勤監査役	秋元 孝則
監査役	平山 孝一
監査役	相澤 光江

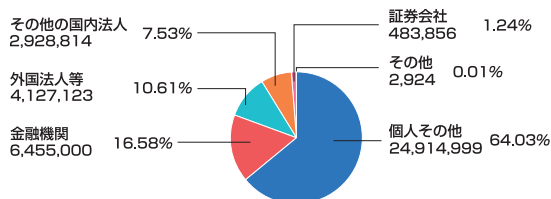
## 株主メモ

- |                      |  |
|----------------------|--|
| (1) 決算期              | 毎年3月31日  |
| (2) 基準日              | 毎年3月31日(そのほか臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。)   |
| (3) 期末配当支払株主確定日      | 毎年3月31日<br>(中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、9月30日現在の株主に対し、お支払いいたします。)  |
| (4) 定時株主総会           | 毎年6月   |
| (5) 単元株式数            | 100株   |
| (6) 株主名簿管理人          | 東京都中央区八重洲1丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社  |
| 同 事 務 取 扱 場 所        | 東京都中央区八重洲1丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  |
| 郵便物の送付先<br>電話お問い合わせ先 | 〒135-8722 東京都江東区佐賀1丁目17番7号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-288-324(代表)   |
| 同 取 次 所              | みずほ信託銀行株式会社 全国各支店<br>みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店(ブラネットブースを除く)  |
| (7) 公告掲載紙            | 日本経済新聞   |
| (8) 株主優待制度           | 毎年3月31日現在の株主に対し、以下の内容にてご優待いたします。<br><br>株主ご優待券<br>①贈呈基準<br>所有株式数 贈呈枚数<br>100株以上 500円券×2枚<br>500株以上 500円券×6枚<br>1,000株以上 500円券×10枚<br>3,000株以上 500円券×30枚<br>5,000株以上 500円券×40枚<br>②利用方法<br>5,000円以上のお買上(限定商品を除く)につき<br>5,000円毎に1枚をご利用いただけます。<br>③有効期限<br>翌年6月30日まで有効<br>④取扱店舗<br>当社全店舗および通信販売でのご購入にご利用<br>いただけます。 |
| (9) 決算情報に関するご案内      | 当社の決算情報およびIR情報は、当社のホームページに掲載しておりますので、ご案内いたします。<br>当社のホームページアドレスは次のとおりです。<br><a href="http://www.kojima.net">http://www.kojima.net</a>  |

## 株式情報 (平成19年9月30日現在)

発行可能株式総数	97,200,000株
発行済み株式の総数	38,912,716株
単元株式数	100株
自己株式数	524株
株主総数	16,202名

## ●所有者別株式分布状況

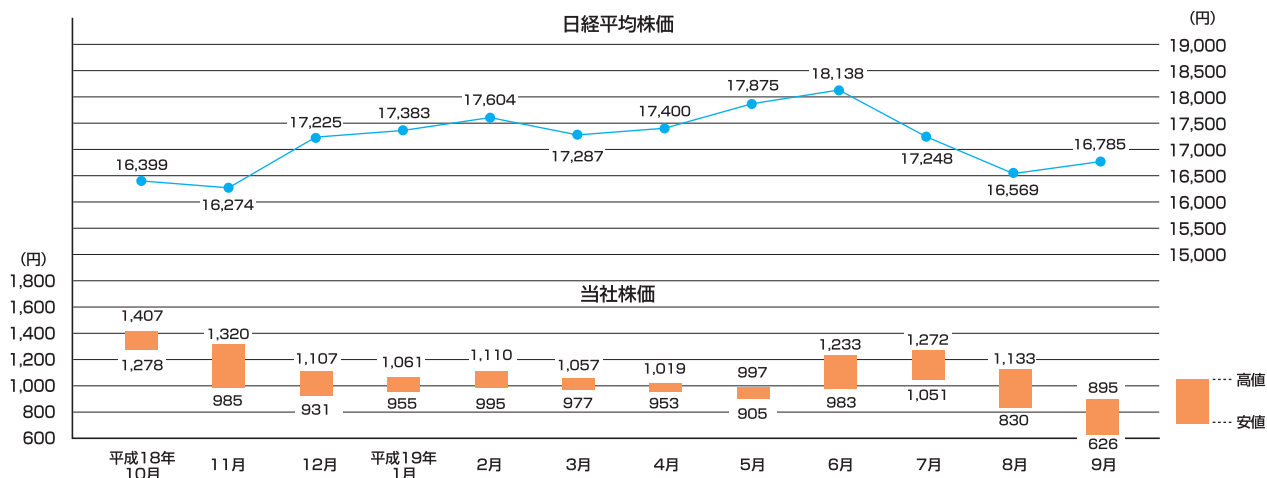


## 大株主 (上位10名)

順位	株主名	所有株式数(株)	出資比率(%)
1	小島 勝平	2,502,100	6.43
2	小島 章利	2,470,036	6.34
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,061,800	5.29
4	有限会社ケーケーワイ	2,030,400	5.21
5	小島 金平	1,935,456	4.97
6	小島 三子	1,932,000	4.96
7	小島 由三	1,770,000	4.54
8	株式会社足利銀行	1,171,800	3.01
9	寺崎 佳子	980,000	2.51
10	小島 久幸	862,000	2.21

## ●株価の推移 (東京証券取引所)

平成18年10月～平成19年9月





## 店舗一覧(平成19年11月30日現在)

<b>北海道</b>	NEW会津若松店	<b>群馬県</b>	NEW加須店	NEW町屋店	<b>山梨県</b>	NEW有松インター店	NEW大開店	<b>愛媛県</b>
白石本通店	NEWいわき店	太田店	NEW春日部店	NEW加平店	NEW甲府	NEW清洲東インター店	NEW手柄店	NEW松山店
平岡店	NEW福島店	藤岡店		NEW西新井店	NEW甲府バイパス店	NEW鳴海店	NEW鳴尾店	
NEW手稲店		NEW高崎店	<b>千葉県</b>	NEW新小岩店		NEW砂田橋店	NEW芦屋店	<b>高知県</b>
NEW函館店	<b>茨城県</b>	NEW日吉店	木更津店	NEW三鷹店	<b>石川県</b>		NEW南武庫之荘店	NEW高知インター店
NEW札幌琴似店	石岡店	NEW前橋大友店	佐倉店	NEW池上店	NEW金沢駅西店	<b>三重県</b>		
	土浦店	NEW館林	成田店	NEW善福寺店		NEW四日市店	<b>奈良県</b>	<b>福岡県</b>
<b>青森県</b>	牛久店	NEW大泉	NEW花見川店	NEW葛飾店	<b>福井県</b>		NEW香芝店	NEW福岡空港店
八戸店	守谷店	NEW桐生店	NEW千葉中央店	NEW東村山店	NEW福井店	<b>滋賀県</b>	NEW奈良店	NEW八幡店
NEW青森	学園都市店	NEW伊勢崎店	NEW幕張インター店			NEW大津店		NEW福岡春日店
NEW弘前店	NEW下館店		NEW君津店	<b>神奈川県</b>	<b>富山県</b>		<b>和歌山県</b>	NEW福岡西店
	NEW日立南店	<b>埼玉県</b>	NEWユウカリが丘店	港北インター店	NEW富山店	<b>京都府</b>	NEW野崎店	NEW小倉東インター店
<b>岩手県</b>	NEW古河店	東松山店	NEW柏店	横浜店	NEW西富山店	NEW伏見店		
花巻店	NEW水戸店	川越インター店	NEW松戸店	伊勢原店		NEW桂大橋店	<b>鳥取県</b>	<b>佐賀県</b>
NEW盛岡店		狭山店	NEW船橋	NEW新杉田店	<b>長野県</b>	NEW高野店	NEW鳥取店	NEW鳥栖店
	<b>栃木県</b>	鴻巣店	NEW習志野店	NEW青葉台店	NEW長野店			
<b>宮城県</b>	県北店	NEW深作店	NEW印西店	NEW厚木栄町店	NEW松本店	<b>大阪府</b>	<b>岡山県</b>	<b>長崎県</b>
仙台店	鳥山店	指扇店		NEW藤沢店		NEW門真店	NEW倉敷店	NEW長崎店
NEW多賀城店	黒磯店	蓮田店	<b>東京都</b>	NEW小田原店	<b>岐阜県</b>	NEW和泉店	NEW岡山店	
名取店	矢板店	幸手店	足立店	NEW海老名店	NEW西岐阜店	NEW緑地公園店		<b>熊本県</b>
石巻西店	光陽台店	東所沢店	青梅店	NEW平間店		NEW松原店	<b>広島県</b>	NEW熊本店
NEW泉中央店	NEW駒生店	NEW和光店	昭島店	NEW横浜日吉店	<b>静岡県</b>	NEW箕面店	NEW宇品店	NEW熊本インター店
NEW大崎店	氏家店	南越谷店	上板橋店	NEW梶ヶ谷店	NEW静岡店	NEW茨木店	NEW福山店	
	大田原店	NEW大宮店	多摩店	NEW横須賀店	NEW浜松店	NEW東大阪店	NEW広島インター緑井店	<b>大分県</b>
<b>秋田県</b>	NEW鹿沼店	NEW所沢西店	小平店	NEW相模原店	NEW東浜松店	NEW堺店	(12月8日オープン予定)	NEW大分店
NEW卸団地店	NEW足利店	NEW川口店	高島平店	NEW座間店	NEW静岡有明店	NEW生野店		
	NEW東店	NEW久喜	NEW豊玉店	NEW平塚店	NEW沼津店	NEW旭店	<b>山口県</b>	<b>宮崎県</b>
<b>山形県</b>	NEW栃木店	NEW上福岡店	NEW東久留米店	NEW橋本店	NEW富士店	NEWりんくう羽倉崎店	NEW山口宇部空港店	NEW宮崎店
山形店	NEW宇都宮南店	NEW与野店	NEW江戸川店	NEW横浜大口店		NEWあべの店		
米沢店	NEW小山店	NEW坂戸店	NEW八王子店	NEW権太坂店	<b>愛知県</b>	NEW高槻店	<b>徳島県</b>	<b>鹿児島県</b>
NEW三川店	NEW佐野店	NEW浦和店	NEW東大和店		NEW熱田店	NEW大東店	NEW徳島店	NEW谷山店
	NEW真岡店	NEW鳩ヶ谷店	NEW井草店	<b>新潟県</b>	NEW豊橋店	NEW寝屋川店		NEW与次郎店
<b>福島県</b>	NEW日光店	NEW越谷店	NEW用賀店	SELECT 燕三条店	NEW岡崎店		<b>香川県</b>	
方木田店	コジマ薬品みどり野店	NEW熊谷店	NEW府中店	長岡店	NEW瀬戸店	<b>兵庫県</b>	NEW高松店	<b>沖縄県</b>
NEW白河店		NEW新座店	NEW若林店	NEW新潟店	NEW日進店	NEW垂水店		NEW那覇店
NEW郡山店		NEW上尾 春日店	NEW志村店	NEW上越店	NEW一宮店	NEW名古屋店		

## 平成19年4月から平成20年3月までの新規店舗開店予定

上期にはNEW習志野店(千葉県)など6店舗を出店。また下期には11店舗と、通期計17店舗の出店を計画しております。

